

令和5年度第1回中山道落合宿本陣整備計画策定委員会議事概要

開催日時： 令和5年6月30日 14時30分

場 所： にぎわいプラザ4階 4-1会議室

(※ 委員会に先立ち、13時45分から委員らによる落合宿本陣の現地確認を実施)

1. 開会

2. 挨拶

3. 議事

3-1. 前回委員会の概要と昨年度からの動向について

- ・ 前回委員会での決定事項や懸案事項について振り返った後、令和4年度からの動向について事務局が報告した。

3-2. 「中山道保存活用計画 落合宿本陣編」の策定について

- ・ 令和4年度からの調査成果を、令和5年度中に「中山道保存活用計画 落合宿本陣編」としてまとめていくことを事務局が報告した。
- ・ 「中山道保存活用計画 落合宿本陣編」は、平成25年3月に策定した「中山道保存管理計画」の内、特に落合宿本陣に関する内容を追補・改訂するものであり、整備基本計画を策定するための基礎となる計画であることが確認された。

3-3. 文化財コンサルタントへの支援業務委託について

- ・ 「中山道保存活用計画 落合宿本陣編」本文執筆の一部、整備基本計画策定に向けた予備調査を株式会社 文化財保存計画協会が請負うことについて事務局が報告した。
- ・ 株式会社 文化財保存計画協会の担当者が、本年度の業務予定を報告した。

3-4. 土蔵・離れ等の落合宿本陣を構成する要素の価値付けについて

- ・ 麓委員（名古屋工業大学名誉教授）が離れ・土蔵調査の成果について報告した。
- ・ 丸山宏氏（名城大学名誉教授）による庭園調査の成果について事務局が報告した。
- ・ 市内史跡中山道の本質的価値に明治時代の道としての側面を認めただうえで、その貴重かつ重要な交通遺跡として追加指定された落合宿本陣にも明治時代の歴史的事象にまつわる本質的価値を認めていく価値付け方針を【別紙4】のとおり事務局が提案し、承認を受けた。

3-5. 保存活用計画の章立てと第1章から第3章について

- ・ 保存活用計画の章立て案、第1章から第3章についての本文案を【別紙6】のとおり事務局が提示し、大筋で承認を受けた。
- ・ 杉村委員が行った落合宿本陣に関する史料調査報告の内容に基づき、事務局は次回の委員会までに第3章の増補を行う方針を示した。

3-6. 今後の見通しについて

- ・ 令和10年度以降の着手を目指す【別紙7】のスケジュール案を事務局が示し、承認を得た。
- ・ 令和5年度内にあと2回委員会を開催することが事務局から予告された。

主な意見等

(1) 現地確認について

- ・ 委員会前の現地確認中には、大雨警報が発令されるような大変な天候となったが、落合宿本陣の老朽化と雨被害の関連を考える上で非常に有意義な機会となったとの意見が複数委員からあった。

(2) 落合宿本陣の本質的価値について

- ・ 事務局は「中山道交通の減少に伴い、江戸時代以来の建物の維持がままならなくなり、縮小した」旨の史料記述を価値付けに採用しているが、建物の調査に基づけば、実際は元あった建物より立派なものになっているという指摘が麓委員からあった。
- ・ 上記について、『岐阜県御巡幸誌』の記述を引き合いに、むしろ明治天皇巡幸に関連する座敷部分を後世に永く伝えるため、土壁を設け、屋根に土を塗った瓦葺きとしたと考えるべきと杉村委員から指摘があった。

(3) 整備に向けたスケジュールについて

- ・ 整備に向けて必要な手順があることは十分理解しているが、少しでもスケジュールの前倒しを目指し、かつ建物の破損や原因への対処を遺漏なくしてほしいとの意見が複数委員からあった。

4. 開会